

ヴェールルージュ美容専門学校

自己評価結果報告書

自己評価：令和8年4月1日実施

【総評】	4	適切
	3	ほぼ適切
	2	やや不適切
	1	不適切

1. 教育理念・目的・育成人材像

	点検・評価項目	自己評価	自己評価結果
①	教育目的、育成人材像は、学科等に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	4	建学の理念である「即戦力育成」のため、常に時代や業界のニーズに呼応したカリキュラムを企業と協同し改編している。美容業界のトレンドを見通し、適宜新たな授業を取り入れることで最先端の技術習得を目指している。
②	学校における職業教育の特色は何か	4	現役プロ講師による時代や職業現場に即した実践的なカリキュラムや授業のほか、実践力や人間力を育むための体験型実習や行事を数多く取り入れていること。
③	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	教育理念や方針は、学生便覧に明記。表記の語句の解釈の難しさもあるので生徒には入学後に直接説明し指導をしている。

2. 学校運営

①	目標に沿った事業計画が策定されているか	4	期末の運営会議において計画の見直しを実施し、次期計画策定に向け改善策を検討している。
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	組織体制に基づき、学校体制が明確にされており、意思決定においても速やかに行われている。今後もより迅速な意思決定による学校運営を継続させる。
③	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	IT 化を推し進めており、業務の効率化が図られている。学生に Gmail 用アカウントとパスワードを付与し、日々の連絡事項、検定やコンテストの参加確認、アンケート等に利用。勤怠管理システムも導入をした。

3. 教育活動

①	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	厚生労働省指定規則に則って編成しており、規則通り確実に遂行できている。
②	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	4	当校の教育方針である「実践教育の実施」を基に、美容師養成施設標準カリキュラムに則り編成をおこなっている。後援会サロンにご協力頂き、新しい取り組みも取り入れている。1年生を対象にサロン現場体験を9月末に実施。実際のサロンワークを学ぶことができた。自己プロデュース力向上のため、フォトコンテスト等に積極的に参加する等、時代に即した教育内容を常に意識をしている。
③	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	教育課程編成委員会を年2回、学校関係者評価を年1回実施し、意見や提案を参考にしてカリキュラムを検討・編成している。

④	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	基準は明確であり、学則に記載されている。
⑤	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	国家資格である美容師免許取得を目的としたカリキュラム編成となっている。試験対策講座や合宿・延長授業等を実施し、資格取得に万全の体制を整えている。美容師免許以外の資格取得も可能であり、一部、説明会や対策授業を実施している。また、毎週木曜日の放課後に実施している部活動も可能な範囲で実施し、技術力向上に努めた。
⑥	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	厚生労働省指定の専任教員資格要件を備えた教員を必要数確保している。教員には外部団体主催の研修参加機会と必修課目教員資格研修の機会を付与し、資格取得、知識・技術向上に努めている。

4. 教育成果

①	退学率の低減が図られているか	2	退学率は昨年度より微増。夏以降に退学者が増えており、昨年度同様、9月以降に退学となった学生が多い。美容以外へ進路変更をする学生も一定数いるため、部活入部時期を早める、行事・イベントを増やす、授業内容の見直し等、美容により興味を持ってもらえる取り組みをしていく。 長期休暇明けは特に注意を払う必要がある。教員と学生とのコミュニケーションをより密にして、変化に気づくようにする。 その他、引き続き出席状況や受講態度などに問題があった場合、各教員から学科長へ報告の上、必要に応じて個別面談を行い速やかに対処。退学防止委員会の運営を継続している。長期欠席等の問題のある学生は、保護者や臨床心理士とも連携しながら指導に当たり学業への復帰を促していく。
②	就職率の向上が図られているか	4	今年度は就職辞退者が多かった。美容系以外の職種を希望する学生もいた。就職サポートとしては担任教員、キャリアセンター、学校後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催し就職活動を全面バックアップしている。就職率の向上を目指し月別内定目標を設定し、月ごとの結果を取りまとめ、教職員内で共有化している。その結果、就職率は100%を維持している。
③	資格取得率の向上が図られているか	4	美容師国家試験は合格率96%と高い水準を維持している。国家試験合格率100%を目標として、国家試験対策室を主導に、学生一人ひとりへの個別指導や対策講座・合宿を実施している。一定レベルに到達していない学生を対象に延長授業を取り入れ、国家試験課題技術強化のため、週に1回の補習は引き続き実施。1年生の春休みから補習も行うなど、早めに対策を講じている。1・2年生ともに、希望者向けの夏季講習や試験前に実技強化期間を設け、多くの学生が参加をして

			いる。 国家試験以外の資格取得についても、対策授業を実施し、合格率の向上に努めているが、受験者は減少傾向にある。
--	--	--	--

5. 学生支援

①	社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	大学・短大の既卒者に向けた学費支援制度を設けている。
②	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	担任教員、キャリアセンター、後援会が連携して、各種ガイダンスや研修、親睦会などを独自に開催しながら就職活動を全面的にバックアップしている。卒業生等からの情報を有効活用し、内定率向上に注力。またミスマッチを防ぐため希望学生を対象に個人面談を実施。面談時間を例年より長くし、個性や希望条件に合った就職先のアドバイスをしている。美容部員及びブライダル関係の求人減少のため、例年実施していた対策授業をなくして個別に対応をしている。
③	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任が窓口となり学生相談に対応することが多いが、場合に応じて、副担任や学年主任等も対応をしている。その他、校内にカウンセリングルームを設置し、カウンセラー2名体制で定期的に学生相談に対応している。また、身体に関する悩みや緊急を要する怪我などについては、学校長（医師）が対応している。
④	学生の経済的側面に対する支援制度は整備されているか	4	日本学生支援機構、日本政策金融公庫などの公的制度の他、学校独自の奨学制度を設けている。（奨学金を活用した学費の分割払い制度や特待生制度等） また、修学支援新制度の対象校となっている。 学内の学費相談デスクに学費アドバイザーを常駐し、学費・奨学金に関する相談体制を整えている。「一誠美容師育成奨学基金」「一般財団法人プラージュ財団」「公益財団法人 EARTH 美容育英財団」等からの給付奨学金の案内等、有益な情報を学生に提供することを心掛けている。

6. 教育環境

①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。メンテナンス体制も整備しているが、一部老朽化が進んでおり、随時計画的に補修している。
②	学校外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外実習については、毎年 10～12 月に希望者に対し海外研修を実施し、世界レベルのトップアーティストから学べるニューヨーク、ロンドン等での学校独自企画のプログラムを用意している。近年、円安・物価高の影響で渡航費用が高く、海外研修費用は大幅に上がったが、40 名以上の学生が参加し満足度の高い研修を実施することができた。

③	防災に対する整備はされているか	3	防火管理規程、校舎管理規程を定めて体制を示し、防災訓練等を実施している。災害時対応マニュアルを作成して教職員及び非常勤講師へ周知している。
---	-----------------	---	---

7. 学生募集と受け入れ

①	学生募集活動は適正に行われているか	4	教育機関として節度ある学生募集活動を行っている。特に A0 入試は保護者または高校教員の承諾を必要とし、安易な合格内定による囲い込みは一切行っていない。また、高校側のスケジュールに合わせ必要書類を依頼し安心を得ている。オープンキャンパスでは、志望者の要望に合わせて個別対応を行い、正確な進路の指針を示すよう努めている。遠方にお住まいの方を対象に現地入試を継続実施。自宅から参加できる「WEB 個別相談会」も引き続き実施。WEB 出願も始まり、時代に即した活動を継続実施していく。
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率や求人倍率・就職内定率等のデータについては、最新の数字を学校案内パンフレットやホームページ等に公表している。卒業生の現場での就業状況等についても、事実を正確に伝えている。
③	学納金は妥当なものとなっているか	4	おおむね妥当な金額となっている。教材費は物価高による影響が大きく、2027 年度入学生から 2 年次にコース別費用を徴収することになった。

8. 財務

①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	毎期、大きな狂いは生じておらず、妥当と判断している。
②	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	入学生の定員を確保しており、財務基盤は安定している。退学者数も大きく影響を与えるため、退学者の減少が課題として残っている。
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に実施している。

9. 法令等の遵守

①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか	4	法令、設置基準等に関してはそれらを遵守したうえで、適正な運営がなされている。
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	資料請求者、受験者、学生や卒業生および教職員等、学校が保有する個人情報に関し、管理システムのパスワードは定期的に変更している。また 5 年毎にセキュリティシステムをバージョンアップしており、対策を講じている。学校管理の SNS については、掲載可否を事前に学生へ確認し、配慮している。
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	期末に自己評価を実施、問題点の改善に努めている。期中には教職員会議、学年会議、営業会議等を通じて常に自己点検を行い、問題・課題を早期に発見し、随時協議を行い対処している。その他、学校関係者委員会及び教育課程編成委員会を実施して、外部関係者の意見も積極的に反映するよう努めている。

1 0. 社会貢献

①	学校の教育資源を活用した社会貢献を行っているか	3	開校当初より社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。チャリティや業界団体をはじめ、海外美容学校の研修受入れなど分野枠を超えた活動を実施している。コロナで中止となっていたボランティア活動等も再開。その他、中学校への出張授業も継続実施している。
②	生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	生徒の社会貢献に対する意識向上のため、高齢者への美容サービス、児童養護施設のイベント協賛など授業や学校行事にも取り入れている。生徒が自ら行う活動についても日常的に奨励・支援している。また学校周辺地区で実施されるイベントにも積極的に参加をし、地域活性化に貢献できた。

1 1. 国際交流

①	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	留学生には、教職員が生活・コミュニケーションや在留手続きの管理までサポートしている。また、日本人学生数名が個別に勉強や生活をサポートする体制を整備している。令和6年度以降、留学生は在籍していない。
②	受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等が取られているか	4	取次申請者が留学生の状況を個別に確認し、必要に応じ手続きを代行している。
③	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	3	開校よりグローバル人材の育成を行ってきた結果として現在複数の卒業生がロンドン、ニューヨークなど世界の主要都市で美容師やヘアメイクアーティストとして活躍している。海外研修の際に海外で活躍中の卒業生と、将来海外で活躍することを目標としている学生へ情報提供を行っている。